

施策名	行政評価 施策体系	都市基盤の整備	施策 統括課	南部地域整備 課	氏名	蛭谷 常久
政策名		まちをつくる	施策 関係課	都市計画課、道路下水道課、国立駅周辺整備課		

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) \* 人や自然資源等

- 市民
- 事業者
- 市内全域

意図(対象をどう変えるのか)

- 地域特性にあった都市基盤が整備されている  
住みやすい環境をつくる

対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ 事業者数	事業者
ウ 市域面積	km <sup>2</sup>
エ	

成果指標(意図の達成度の指標) 数字は記入しない

名称	単位
ア 各地域の特性にあった基盤整備がされていると思う市民の割合	%
イ 生活に必要な都市基盤が整備されており、住みやすい環境であると感じている市民の割合	%
ウ	
エ	
オ	

2 第2次基本計画期間(平成23~27年度)内における取組内容

体系	具体的な取組内容
地域特性にあった都市基盤の整備	土地区画整理事業の推進を図ります。国立駅周辺まちづくり事業の推進を図ります。(仮称)国立市南部地域整備基本計画に基づく基盤整備の推進を図ります。都市計画道路の整備を図ります。JR中央線連続立体交差事業の推進を図ります。
住みやすい環境の整備	地域特性を守るルール(地区計画・建築協定等)の推進を図ります。町名地番整理の推進を図ります。歩行環境の整備や老朽化した舗装改良整備を行います。道路台帳の整備を行います。

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値

単位		数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	
対象指標	ア 人	見込み値									76,000	
		実績値	73,563	73,803	74,251	74,329	74,432	74,265	74,566			
	イ 事業者	見込み値										
		実績値	2630(H18)		2,820	2820(H21)	2820(H21)	2820(H21)	2,640			
	ウ 事業者	見込み値									8.15	8.15
		実績値	8.15	8.15	8.15	8.15	8.15	8.15	8.15	8.15		
成果指標	ア %	成り行き値										
		目標値			65.0	66.0	67.0	68.0	69.0	70.0		
		実績値	70.3		64.7	63.1	63.3	64.0	72.7			
	基本計画における施策の目標設定の根拠			国立市市民意識調査において、都市基盤が整備されている富士見台地域の2009(平成21)年度の水準である70%を目指すこととし、目標値を設定しました。								
	イ %	成り行き値			67.8	67.8	67.8	67.8	67.8	67.8	67.8	
		目標値			68.0	69.0	69.0	70.0	71.0	71.0		
		実績値	61.3		67.8	65.4	66.5	68.6	74.0			
	基本計画における施策の目標設定の根拠			国立市市民意識調査において、北・東・中・西地域においてはJR中央線連続立体交差事業や都市計画道路3・4・10号線局所改良事業の完了により、住環境が向上し、80%の水準になると想定し、ま								
	ウ	成り行き値										
		目標値										
		実績値										
	基本計画における施策の目標設定の根拠											
	エ	成り行き値										
		目標値										
		実績値										
	基本計画における施策の目標設定の根拠											
	オ	成り行き値										
		目標値										
実績値												
基本計画における施策の目標設定の根拠												
施策コスト	事務事業数		本数	36	33	33	33	36	36	35		
	財源内訳	国庫支出金	千円				25,100	41,800	143,680	123,950		
		都道府県支出金	千円	274,893	526,186	190,170	94,437	154,412	217,594	147,872		
		地方債	千円	1,555,000	418,000	218,000	147,000	226,000	155,100	48,740		
		その他	千円	152,469	180,525	171,306	218,551	63,716	127,463	171,800		
		一般財源	千円	534,420	258,562	111,681	158,905	178,028	227,759	242,727		
	事業費計(A)		千円	2,516,782	1,383,273	691,157	643,993	663,956	871,596	735,089	0	
	人件費	延べ業務時間	時間	39,175	39,935	43,826	39,597	41,779	42,156	49,768		
	人件費	人件費計(B)	千円	188,773	191,913	203,100	190,485	205,895	203,580	238,790		
	トータルコスト(A)+(B)		千円	2,705,555	1,575,186	894,257	834,478	869,851	1,075,176	973,879	0	

**4 施策の現状**

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

平成18年度から都市計画道路3・4・10号線の整備事業を実施している。  
 平成19年度から国立市南部地域整備基本計画の策定を進めている。  
 市内2か所(城山南地区、下新田地区)において、組合施行による土地区画整理事業を実施している。  
 国立駅周辺まちづくり基本計画に基づき、まちづくり会議を開催した。  
 平成23年2月に国立市都市計画マスタープラン(改定版)を策定した。  
 平成23年度に東京都が都市計画道路3・3・2号線の事業認可を取得し、事業を進めている。  
 平成25年度に東京都が都市計画道路3・4・5号線の事業認可を取得し、事業に着手した。  
 平成25年度にJR中央本線の高架化が完了した。  
 社会資本(道路施設)の老朽化が進行している。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

- ・南部地域の狭い道路の整備を進めるよう要望がある。
- ・甲州街道の歩道拡幅について要望がある。
- ・国立駅周辺まちづくり事業の縮小を求める声がある。
- ・さくら通りの適切な維持管理について要望がある。
- ・社会資本(道路施設)の老朽化対策に取り組むべきとの要望がある。

**5 25年度の評価結果**

(1) 25年度行政経営方針の取組状況

25年度行政経営方針	取組状況
中央線連続立体交差事業が最終年度を迎え、国立駅周辺まちづくりにおいても重要な年度となる。旧国立駅舎の復原、交通体系の整備、高架下及び南口公共施設等用地の利活用など、国立駅周辺の賑わいと活力の創出のための取り組みを進めていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JR中央線の高架化が完了し、渋滞の解消などの事業効果があらわれた。</li> <li>・国立駅周辺まちづくり会議や庁内検討を踏まえ、社会資本整備総合交付金の申請に必要な都市再生整備計画(案)を作成した。</li> <li>・都市計画道路3・4・10号線は、南工区の用地取得を行った。</li> <li>・城山南土地区画整理事業及び下新田土地区画整理事業が事業中であり、都市基盤整備は進められている。</li> <li>・国立市南部地域整備基本計画の策定に向け、庁内で細部の検討を進めている。</li> <li>・市道八王子道の拡幅整備に伴う用地買収を進めている。</li> <li>・北1丁目地区の町名地番整理事業が完了し、城山南地区が進められている。</li> <li>・さくら通りの2車線化事業の整備を進めている。</li> </ul>

(2) 施策の成果実績把握と評価

成果指標目標値達成度(目標値と実績値との比較)

成果指標ア 【 各地域の特性にあった基盤整備がされていると思う市民の割合 】

25年度目標値を達成  未達成 (  24年度実績値と比較し成果向上・維持  24年度実績値と比較し成果低下 )

成果指標イ 【 生活に必要な都市基盤が整備されており、住みやすい環境であると感じている市民の割合 】

25年度目標値を達成  未達成 (  24年度実績値と比較し成果向上・維持  24年度実績値と比較し成果低下 )

成果指標ウ 【 】

25年度目標値を達成  未達成 (  24年度実績値と比較し成果向上・維持  24年度実績値と比較し成果低下 )

成果指標エ 【 】

25年度目標値を達成  未達成 (  24年度実績値と比較し成果向上・維持  24年度実績値と比較し成果低下 )

成果指標オ 【 】

25年度目標値を達成  未達成 (  24年度実績値と比較し成果向上・維持  24年度実績値と比較し成果低下 )

成果指標カ 【 】

25年度目標値を達成  未達成 (  24年度実績値と比較し成果向上・維持  24年度実績値と比較し成果低下 )

時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上) ~ E(かなり低下)

A:成果がかなり向上した

他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い) ~ E(かなり低い)

C:他自治体と比べてほぼ同水準である

背景として考えられること

ア・イ...JR中央線の高架化が完了し、踏切に伴う渋滞が解消された。また、南部地域においても、少しずつではあるが、道路整備や土地区画整理を行ったことにより都市基盤整備が進めている。

...JR中央線の高架化が完了し、国立駅の南北自由通路の整備や踏切に伴う渋滞が解消されたことによる向上と思われる。

...南部地域においては、狭隘道路が多く都市基盤整備が遅れている。

(3) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等)

- ・JR中央線の高架化が完了し、渋滞の解消などの事業効果があらわれた。
- ・国立駅周辺まちづくり会議や庁内検討を踏まえ、社会資本整備総合交付金の申請に必要な都市再生整備計画(案)を作成した。
- ・都市計画道路3・4・10号線は、南工区の用地買収を行った。
- ・城山南土地区画整理事業及び下新田土地区画整理事業が事業中であり、都市基盤整備は進められている。
- ・国立市南部地域整備基本計画の策定に向け、既存計画の見直しを進めている。
- ・市道八王子道の拡幅整備に伴う用地買収を進めている。
- ・北1丁目地区の町名地番整理事業が完了した。
- ・さくら通りの2車線化事業の整備を進めている。

**6 施策の課題・今後の方向性**

- ・事業実施のための財源確保。
- ・国立駅周辺の整備に向け、関係機関と協議を行い、社会資本整備総合交付金の申請を行い、整備を行っていく。
- ・南部地域の都市基盤整備は、地元関係者等の合意形成を図る事が必要。
- ・町名地番整理事業の未実施地区を計画的に実施していく。
- ・さくら通りの2車線化については、東京都の補助金を活用しながら進めていく。
- ・社会資本(道路施設)の老朽化対策が遅れている。